

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家庭的な施設、地域に貢献、技術向上を目指すため職員は何を大切に利用者と向き合えばいいのか実践につなげる方法を利用者別に目標と振り返りのケア計画を毎月立てている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において、できる事を考え、取り組みとする。散歩途中地域住民と挨拶を交わしたりゴミ拾いを行っている。他に何ができるか今後も増やしていく。	散歩に関して静かな山あいで立地条件が良い ご近所の方から声をかけて頂いている顔なじみである、地域で祭り防災訓練等行事があれば参加。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍、面会ルール順守下、運営報告や利用者のサービス状況を議事録で郵送。加えてスマホ通話・動画で決定事項よりそこに至る状況説明に努め、意見情報を頂く環境を作っていく。ポスト設置する。	報告はできている、ご意見箱設置。認知症の理解を会議で知って頂き日常生活をライン動画で知って頂いている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護保険課とは連絡を取り合いサービスについては相談し助言を頂いている。市内グループホーム連絡会参加し他施設と情報交換しサービス向上に取り組む。	地域密着型のサービス内容を相談助言を頂き利用者への支援につなげている。他の GH と情報交換する事で同じく支援できている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止の研修は年2回行う職員は理解を深める。玄関・門扉は日中は施錠していない。具体的な拘束行為他資料は玄関に掲示している。スピーチロックに取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度入職者が1回となってしまったため1月・2月と勉強会を行い職員同士共有認識を図る。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の権利・尊厳を守るため知識を得て本人家族に情報提供し、より良い支援につなげる。1年に2回外部(内部)研修を受け職員全員で振り返っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	上記と同じく研修を行う事で不適切なケアと気づき適正なケア実践につなげる また、高齢者虐待防止法の仕組みを理解する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援して	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は利用者様の権利・尊厳に対する法や制度を理解する為講演会、研修に参加している今までに複数の利用者が制度を活用された。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約等、代表者が十分な説明を行い、理解と納得を頂ける様に、都度説明に努めて折、何でも聞いて頂ける環境にしている。改定時はお手紙面会時等知らせている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の訪問が多い為その際に要望を聞いている。またスマホ導入(メール、画像)で利用者様のご様子をタイムリーに家族に送信、ご意向を確認し当日のフロア職員と管理者が話し合い迅速に解決している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍での生活様式順守の為に出来る範囲については家族の理解を得ている。コロナの関係で生活相談員の訪問はないが医療職の訪問中スタッフから情報を得る事ができる。緊急時の救急体制や食事メニューの希望
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員間で運営に関するアイデア、改善点は小規模ならでの意見交換の場が多く即実践から振り返りまで管理者と職員間で一体化している毎月 25 日の会議には全員出席し意識統一できる。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各自が向上心を持って働ける職場環境や条件の整備に努めている。資格取得には勤務しながら学べる環境を提供できる。介護福祉士受験者には集中でき負担のない勤務体制に配慮している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体格の良い利用者介護、介護拒否で暴言暴行者、腰痛対策に 2 人体制がとれるシフトを組む。又は腰痛アシストベスト、移乗サポートロボットレンタルを予定している。業務上ストレス軽減の為ミストをたき静かで目をつむる事が出来る空間で 30 分休養できる様にしている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は法人内外の研修に進んで参加できる機会を設けている職員一人一人の向上に取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護福祉士 6 名中 15 年以上のキャリア 3 人いる事で日勤のシフトで実践トレーナーとして新人とシフトが組める。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医師会の研修、県・三島市各 GH 連絡協議会や地域包括ケアシステムの一環でキャラバンイベント・認知症フェスティバル等参加。情報交換を行う事で「顔の見える信頼関係」づくりサービス向上に向け実践をしている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「一つ屋根の下で一緒にくらしませんか！」利用者とスタッフが共に明るく楽しく、やすらぎのある穏やかな生活を送る事を目指し【こうして欲しい】いうニーズに【こうあって欲しい】という願いを込めている。		

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>パーソンセンタードケアの下家族様もその人らしく生きているか否かが継続的絆が得られると考える。無理なく抱え込まない関係性である様に支援している。家族様以外にも面会・外出・電話・手紙で継続支援している。</p>	<p>利用者様が孤独・疎外感を感じる事のない様に 手紙・電話スマホ動画(テレビ電話)と話題作りを努めている。</p>		
II その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>今までの生活歴の情報収集と利用者の主訴を十分に理解するために自宅に伺い又は体験入所も可能でありスムーズにホームになじんで頂ける様にしている。</p>			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>毎月 25 日の会議で援助内容が不適切なケアにならない様に振り返り新たな介護展開をプランに反映。家族へメールでタイムリーに近況報告している。要望や主治医・訪問看護の助言等意見を反映している。</p>	<p>利用者の状態に合わせ都度、ケアの変更ができる 不適切なケアを避ける、ご家族様にラインでタイムリーに施設長管理の下報告している。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>看取りを行っているため最後までご本人の尊厳を守り家族様の意向をすり合わせしている。介護計画の PDCA 経路でご本人やご家族の意向が反映されている。個別対応が十分できている</p>
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>日々の介護日誌、、個別の記録を職員間で情報共有しながら、実践や計画の見直しをしている。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>個別に体調変化あれば医療職と当日に連携ができそれによって介護計画、サービス内容は柔軟性かつ迅速に変更。申し送り等で職員一同対応している。</p>
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>個別的に集団的に柔軟なサービス提供を多機能化に取り組んでいる。買物、食事、散策習い事、お墓参りの支援など。</p>	<p>利用者会議程堅苦しさはなく普段いつでもご要望を会話の中に取り入れ対応できている。利用者様の中にまとめ役ができる方を中心に週 1 回はリクエストのメニューをしている。</p>		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ご本人の社会資源を入所後分断しないサービス調整を実践している。地元の縁者の訪問、家族支援、地域包括ケアシステムの一環として活動・参加を支援する</p>	<p>家族単位の面会外出の整備送迎や主治医他医療職スタッフも出席のもと全員参加の家族会を行う、地域包括主催のイベントに利用者も参加チラシ配りを手伝う。</p>		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>毎月、認知症専門医の訪問診療・訪問歯科診療と事前に情報交換し密な関係を継続している、必要であれば紹介状にて専門医に受診している。早期発見治療で悪化を予測し、医療職チームと対応している。</p>			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時サマリーを作成し情報提供している、家族に代わって付添いや、面会し状況把握、退院時はカンファに参加し、看護サマリー、本人との面会等状況把握から退院支援をする。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様が入院によるダメージやストレスを軽減するため早期退院できるように病院関係者との情報交換相談に努める。今までに骨折の場合術後せん妄・異食見られ最短5日間で退院し施設でリハビリを行うケースあり。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に説明を行い、重度化した場合、終末期のあり方を本人、家族、医師等医療関係者と話し合っている、家族のご要望はいつでも受け入れる体制を整え意向確認している。ベテランスタッフにより手厚く尊厳のある看取り介護の提供が出来る。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期は医療介護など多職種チームで関わり尊厳のある介護を行う。主治医を中心に対応方針の共有を図るため早期に意向も段階を踏みながら話し合う。ご家族様には老衰のプロセスと延命治療などイメージを付けながら話し合っている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療・介護の研修に参加し実際の急変時はマニュアルに沿い出来ているかを振り返る。事故報告書や事故後カンファにて職員間で話し合っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を実施し毎月11日は災害の日と決め非常食を全員で摂る避難場所の確認をしている。近所の方への声掛けで近隣の協力体制も構築している。	食事形態の把握を前提に非常食を備蓄、普段も試食して受け入れ食っている近隣住民との連携ができて施設側からの情報発信ができる。避難場所は施設長自宅となる第2居住区も考慮している。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜の災害時訓練を行う。職員の参集状況や家族への連絡網、引き取り可能かまたは施設滞在可能等家族へ聞き取りしている。近隣の高齢被災者の受入れは2名ほど考慮している(条件付)

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	【パーソンセンタードケア】の10ヶ条を居間、職員トイレに掲示し、常に初心を忘れない様にしている。日頃から言葉使いチェックで振り返りをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックを職員で話し合う。日常の会話において直球でお返し言葉でなく、やんわりと良いあしらいができ、自身の発言が文字にした場合不適切であればやはり直す事を認識する必要あり
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日勤者が3人から5人と個別に十分支援体制が出来ている。日々の体調、、ご希望を聞きながらその人らしく日課を個別にまた、職員との協働作業でこなしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様参加で会議ほど堅苦しさはないが月に何が食べたいかお一人お一人発言の場を設け好き嫌いを考慮し献立に反映している。日光浴気分転換を兼ねて外カフェをしている。野菜の下ごしらえ、配膳下膳食器洗いなど行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前より家事をできる利用者が限られている。一連の動作が難しい失行や身体的に立位が取れない重度化である。配膳下膳程度、家庭菜園をしている知人・家族から野菜がたくさん差入れ有り豊富である。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	栄養バランスを考え献立を決めている。食事量水分量を記録し、好きな飲み物を個々に把握し脱水を防いでいる。栄養不足の利用者様は栄養補助食品の提供に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別の口腔内アセスメントによる清潔保持。誤嚥性肺炎予防を常に心がけており毎食後磨き残しがない様に支援している。毎月の訪問歯科診療時にアドバイスを頂いている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内アセスメント実施、歯科医師の助言で個別にケアを行っている。義歯の取り扱い手入れ方法、紛失の内容に管理も徹底している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄の時間、回数、量等記録を取り排泄パターンを把握し個別の支援に努めている。なるべくトイレで排泄して頂くようにトイレ誘導を定時随時行っている。便秘に効く飲料水、食材を使っている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員が個々の仕草サイン癖を含め排泄パターンの把握に努め情報共有もできている。尊敬重視時間も気持ちも余裕のある排泄誘導で失敗を未然に防ぎ羞恥心への配慮もできている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴を嫌がる利用者には職員の工夫ある声掛けで入浴後はさっぱりとされている。入浴日、湯温の設定や同性介助等個別に対応できている。低体温予防する。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就寝時間、休憩時間は個々に全く違います。臥床される方は、状況を見て離床して頂く。横になる習慣が全くない利用者様もおられ個々の習慣に応じて支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は、薬の効用、副作用、用法用量について理解している。薬が変わった時は、医師から説明があり、服用後の効果変化等の報告を必ず FAX・電話で伝え指示を受けている。利用者様、ご家族様に説明している		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ドラッグロック防止に取り組むため。主治医を中心に家族・医療・介護チームと連携ができており副作用の現症見られれば3日以内に連絡報告主治医より指示を仰ぐ。支援方法を薬に頼ることなく観察力、介護力を問われる。そのための技術をベテランスタッフより学んでいる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴を参考に個別に役割、楽しみ事、気分転換を支援している。ドライブ、買物、四季を感じて頂く行事又童謡・昭和ナツメロ歌謡鑑賞を提供している。	コロナ禍を考慮し新しい生活様式の中、ライフスタイルに合わせて屋外屋内個別性集団性とからみ合わせ提供している。又炊事場の手伝い、懐メロの合唱、ゲーム家族への手紙等担当者を利用者の中からお願いする。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	四季を感じる散歩・お花見、買い物、外食もしている。コロナ禍、車窓ドライブで対応。外出時の画像をメールでタイムリーに報告している。小学校給食試食会、認知症フェスティバルにチラシでの呼び込みを行っている。	コロナ禍、制約ある現状だが短時間で気分転換、五感刺激の機会を利用者別にまた、干草が出来る事をやっている状況が理解できる。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1人1人希望、能力に応じてお金を所持して頂く。また使用時は見守っている(小遣い程度)。ご家族様が管理をされている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	携帯電話をお持ちの利用者様の充電をしたり、ホーム画面に戻したり、置き忘れ行為から番号を鳴らし見つけ出す事もある。敬老の日には利用者から家族へ日頃思っている事や感謝を手紙にして頂いた。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が移動し易く各々が好まれる居場所が見つかる様に配慮している。実際「ここが好き」とお好きな席場所に毎日座っておられる方がいる。改善必要時(相性など)迅速に模様替えをし、解決している。明るい陽射しが入るソファで外気浴を心掛けている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	雑刺激や不快感や不穏時の対応が柔軟かつ迅速に先に先にとできている、アルツハイマー型、レビー、脳血管性、前頭側頭型認知症各々のケア方法や性格、生活歴を把握し職員で話し合い最善のケアを目指している。	

IV 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々会話、表情、心身の状態を把握し職員間で情報共有の中、本人らしさを尊重、個別重視で暮らして頂いている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前、入居後の暮らしが【かけがえのないものこだわり】等ライフスタイルを本人家族知人等より情報収集しケア・支援を受けながら分断しない継続性を重視している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況とともに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医療・介護等本人を囲む多職種チームで情報交換・連携しながら快適で不安のない暮らしができる様にケア・支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	バイタルチェックは毎日、日々の変化も見逃さず体調急変あれば訪問看護師、主治医、薬剤師と連携体制ができている。各利用者の平常時のバイタルや体質、慢性疾患の把握等観察眼をベテラン職員の介護方法や急変時の研修で身に着けていく
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ライフスタイル・生活リズムを重視して日課は個別援助生活ができている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	引越前、荷物まとめから関わり情報収集大切、なじみな物を知り自室にて活かしその人らしい生活に導く。お位牌・作品・家族写真・衣類・書籍など		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人のなじみのものや大切なものに話題を振る事や同世代の方の価値観、境遇を他の利用者様と分かち合っ頂き連帯感が湧くように努めている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で3密を避けての条件下車窓ドライブ、外カフェ 散歩・買い物・外食等。家族単位での外出支援もしている 短時間でも5感を通しての刺激を得て気分転換を重視。	コロナの関係で制約ある現状の中どの様な支援方法があるか情報収集し今の利用者に合いそして千草が出来る事をやっている状況が理解できる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の得意分野、趣味等生活歴習慣的な視点を本人・家族周囲の方から聞き取り支援出来ている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	制限される事なく発言できる環境である。体調や共同生活のルールの下、集団性・個別性と柔軟性をもちよりバラエティのある支援ができている。笑顔が多い		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日勤者が3人~5人と余裕のある人員確保が出来ていて一人一人の活動の把握を見守りできる。介護担当、食事担当、聞き役担当など職員誰もがすぐにチェンジできる。今後も俯瞰的に流動的にネットワークが身に着くようにする。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で近隣地域の催事行事は現在参加は見合わせている。訪問系の医療職チームとの関わりや個別に家族知人友人との交流の調整役をしている。以前は地区内の小学校の給食試食会参加認知症フェスティバルチラシ配り参加	体調に合わせて調整したり利用者に参加・不参加を聞き取りしたり家族に同意を求めたりしている。コロナ終焉後には世の中の情勢に合わせて復活したいと考えている。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員は利用者に関心を持ち喜怒哀楽の感情表出ができる環境を作り受け止め支え信頼を築いていながら地域に向けても配信する事で広い範囲で支え不安のない生活を送って頂く。理念である一つ屋根の下でお互い助け合い日々送ることが出来ている。</p>	<p>衣食住、人としての営みが生活に現れ利用者、家族、地域より信頼を得て任されている。支援者側の余裕が利用者様の笑顔・身だしなみ等反映されている。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>食事一つとっても。個別対応(時間、ランチ等、回数、嗜好、洋食和食)様々な多様性・柔軟性で満足して頂けている。看取り期にお食い締めと称して本人には寄り添い有意義な尊い時間を共有する介護を考えている。</p>
----	----	---	--	---	---	--	---